



鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

連絡先

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

http://www.synapse.ne.jp/~aunion/krijidouren-index.htm



携帯サイトです。ブック
マークに登録を！

ニュース

No. 20

2010年7月30日

学童保育の実施状況調査結果まとまる (2010年5月1日現在)

過去最高の増加数に(前年比1269増)!! 鹿児島では、37市町で315か所(前年比24増)

◆全国学童保育連絡協議会で、毎年5月1日現在での学童保育実施状況調査結果がまとまりました。

増加数は過去最高になりましたが、昨年から比べると、大規模学童保育の分割などがすすみ、施設数はかなり増加したものの入所児童があまり増えないという傾向が見られます。国や自治体の制度に問題があり、条件整備が遅れているため、利用したくても利用できない「潜在的な待機児童」が増えています。

(詳細は、別送の全国協議会の資料を参照下さい)

■鹿児島では、43市町村中37市町で315か所(前年比24増)、入所児童数は10,847人(前年比416人増)になっています。実施か所数、入所児童数とも増加傾向にあります。小学校数に対する設置率は全国平均88.7%を下回る54.8%であり、自治体によっても大きな差があります。

また、昨年比10%以上入所児童数が減少した自治体が、8市町ありました。

- ・子どもの自然減による減数自治体
→伊仙町 日置市 伊佐市 南大隅町 屋久島町 いちき串木野市
- ・10人以下になった児童クラブを統合&自然減
→曾於市
- ・中学校の統合による公務員の減少に伴う預かり児童の減
→西之表市

今回の調査結果から(全国調査)

- ◆ 学童保育数は1万9744か所になった
 - ・昨年に比べて1269か所増えている(過去最高の増加数)
 - ・厚労省が大規模の分割促進のための予算措置をしてきたことが影響している。
 - ・児童福祉法に位置づけられた法制化後の12年間で、1万か所以上増えている(2倍)。
- ◆ 80万4309人の子どもたちが毎日利用している
 - ・入所児童数が減っている市町村も少なくない。
 - ①小学生生徒数の減少
 - ②不況の影響などによる経済的負担感から入所を断念する家庭もある。
 - ③市町村が補助金を打ち切られないようにと「70人以下」に抑えるために入所要件を制限することや入所抑制を行った
- ◆ 1年生の学年児童総数の25%が学童保育に入所している
- ◆ 市町村が把握した「待機児童数」は6208人
- ◆ 71人以上の学童保育は、大幅に減少した
- ◆ 設置率は、自治体によって格差がある
- ◆ 運営主体は法人等が増加
 - ・公営が減少し、地域運営委員会や法人等が運営する学童保育が増えている。
- ◆ 実施場所は学校施設内が半数を超えた

第35回全国学童保育指導員学校 九州会場

●とき 2010年9月26日(日) 午前10時30分～午後4時30分

●ところ 福岡県春日市・クローバープラザ

●日程 9:30 10:30 12:30 13:30 16:30

|受付|全体会|昼食|講座|

●受講料 2000円

●申し込み締切 9月11日(土)

◆全体会(午前)

基調報告 全国学童保育連絡協議会

全体講義 「愛されて育てられるということ

～子ども・親・指導員のつながり方～

講師・春日井敏之さん(立命館大学)

◆講座(午後)

・基礎講座(3)・生活づくり実践講座(4)・課題別講座(5)

・理論講座(4)・実技講座(2)

※講座の詳細内容は、同封のチラシを参照下さい。

●申し込み方法 受講料・弁当代(希望者)を郵便振替で入金し、その領収書のコピーと必要事項を記入した参加申し込み書を郵送、またはFAXで送信してください。

●申し込み・問い合わせ先 福岡県学童保育連絡協議会

〒807-0067 北九州市八幡東区祇園2-4-22

TEL & FAX 093-662-6000

郵便口座番号 0170-2-132265 福岡県学童保育連絡協議会

●お弁当 必要な方は事前に申し込んでください(700円)。

●後援 福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県ほか

■夏休み利用で、情報を!!■

今年の実施状況調査では、「夏休みだけ利用する」という家庭もあり、4月からの入所児童数があまり増えていない要因のひとつになっていることがありました。

最近、夏休みだけの利用も受け入れる学童保育が増えているのではないかとと思われる地域もあるようです。

そこで、皆さんの地域で把握している夏休みだけ利用する子どもが増えていたり、いままでも多かったという地域(市町村や学童保育)がありましたら、お知らせ願えないでしょうか。

その際、昨年実績としてどの程度の増加になっているのかも、調べていただければ有り難いです。

また、今年の夏休みから、夏休みだけの受入を始めたという市町村や学童保育もありましたら、連絡会事務局までお知らせ下さい。

★『日本の学童ほいく』特集についての情報をお寄せください★

(ア) 施設・設備・環境の改善の事例

(イ) 分割の際に、それぞれが「生活の場」となるように取り組んだ事例

(ウ) 施設の「設置基準」をつくり、それを活用して子どもたちの生活の場にふさわしく施設の改善を行った事例